

市町訪問



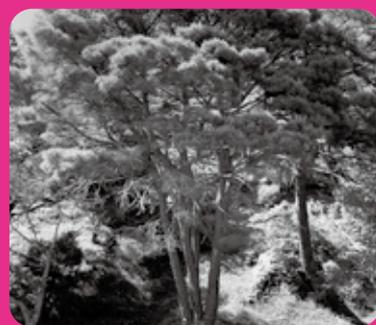
第42回 いきいき元気なまちづくり 湖南省



湖南省は滋賀県南部に位置し、総面積は70.40km²で、滋賀県全体の約1.75%を占めています。奈良時代後期に聖武天皇の勅願により創建したとされる「長寿寺」は子安地藏菩薩を本尊とし、子宝や安産、長寿にご利益があるとされ、善水寺、常楽寺とともに「湖南三山」に数えられています。

また、古くは近江と伊勢を結ぶ伊勢参宮街道として栄え、江戸時代には石部に東海道五十三次の51番目の宿場がおかれ、これを中心とした街道の産業や文化が栄えました。高度経済成長期には、名神高速道路の開通に伴い県下有数の工業団地が造成されました。現在も多くの企業が創業し、滋賀県の南東部における工業振興の中核として着実な進展をみえています。

奈良時代の昔から現代に至るまで、交通の要衝として発展し続け、さらに気候が温暖な上に、野洲川を中心に開けた平野に恵まれたこともあつて、様々な産業と文化を育んできました。

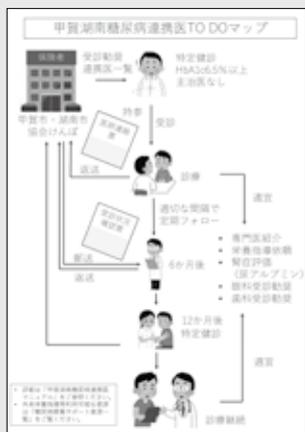


【背景写真：長寿寺】 平松のウツクシマツ自生地 (写真：(一社)湖南省観光協会)

保健と医療が連携し、「甲賀・湖南糖尿病対策プロジェクト」が発足

ここ近年の湖南省の健康課題として、健診受診者のHbA1cの有所見率の割合が男女とも上昇しています。被保険者一人当たりの糖尿病の外来医療費はがんにつき高く、県内でも上位となっています。

甲賀圏域での取組として、平成26年に「甲賀・湖南糖尿病対策プロジェクトチーム」が発足しました。健診の結果、糖尿病またはその疑いのある人が、確実に医療受診し、早期に診断・治療を受けられる体制を作り、患者の重症化を予防することが目的です。また、翌年からは甲賀湖南医師会により「甲賀湖南糖尿病連携医制度」が開始され、かかりつけ医のいない住民の受診勧奨先として案



▲連携の流れ

内できる体制が整いました。この取組は甲賀市、湖南省の国保だけでなく、全国健康保険協会滋賀支部でも甲賀市、湖南省在住の住民に対して行われています。

市では医療機関への受診勧奨を行い、半年後には医療機関に受診状況確認票を送付し、治療状況の確認を行っています。また、薬の処方がないと、「医師に大丈夫と言われた」と思っってしまう方もいらっしゃるのので、市の保健センターでも食生活等の指導を受けるように医師から勧めてもらうようになっています。



▲甲賀圏域内の医療機関に配布

さらに、糖尿病からの人工透析導入を防ぐために糖尿病性腎症3期、4期の方を対象に糖尿病性腎症重症化予防の取組も行っています。保健指導の際に、「Long term eGFR plot」を活用しています。長期間での腎機能の

康意識の改善が必要と考えます。今後はアンケート調査結果もふまえながら、働き世代の健康へのアプローチを検討していったらと思っています。

特定健診受診勧奨の取組

特定健診受診率は県内でも高い水準で推移していますが、コロナ禍前には戻り切っていない現状です。今年度は特定健診受診勧奨通知ハガキを2回送付しました。1回目を9月、2回目を10月に送付し、2回目のハガキには集団健診日程を掲載しました。今後も毎年の動向を注視し、ハガキの内容や送付回数、時期などを検討していきます。

また、特定健診未受診者対策では、働く世代の40代・50代の未受診者が多



▲2回目の勧奨通知



▲保健年金課と健康政策課の皆さん

いため、40代にターゲットをしばり、5年連続未受診者に対して地区担当保健師が受診勧奨の訪問に回っています。訪問は事前連絡を行わずに実施しており、全体で150件ほどあります。出会えることも多く、女性へは乳がん・子宮頸がん検診についても説明しています。

また、国保途中加入者には保険年金課の窓口で特定健診案内パンフレットを配布してもらっています。国保主管課である保険年金課と保健事業を担当する保健衛生部局である健康政策課が協力しあいながら、効果的・効率的な保健事業となるよう工夫しています。



▲特定健診案内パンフレット

健康教育の 出前講座で課題を共有

各地区担当保健師が地域に出向き、健康教育の出前講座を実施しています。今年度はまちづくりセンターや病院に案内チラシを置いていただき、その場で依頼を受けることもありました。講座の中で、健康課題を共有しながら地域住民自身が自身の健康課題に気づき、健康づくりを実践できる方を増やしていければと思っています。

地域の健康課題に合わせた 健康指導を実施

湖南省は4中学校区あり、中学校区ごとに1人の保健師が受け持ち、管理栄養士とともに活動しています。市内でも地域によって健康課題が違うので、地域住民には、地域ごとの健康課題を伝えることを心がけています。今年度初めには地域で健康づくりについて活動している健康推進員とともに健康課題を共有し、各まちづくりセンターにて地区の健康課題にあったリーフレットを作成し、来所者に説明をしました。湖南省には小学校区ごとにまちづくりセンターがあり、地区担当保健師



▲小学校区ごとにリーフレットを作成

が出向いて健康づくり活動を行っています。健康づくり湖南推進協議会が中心となり開催されるイベントの際にはBIWATEKUのポイント付与を行ったり、健康推進員と協働してセンターまつり時に健康に関するコーナーを担当したりしています。他のスポーツイベントなどと一緒に行うことで、健康意識の高い方以外にも会うことができます。

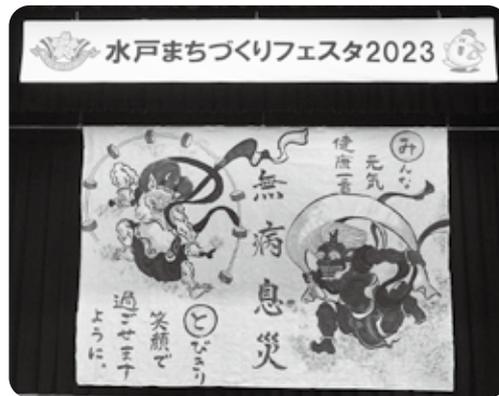
今年度開催された「水戸まちづくりフェスタ2023」では、参加者にワークショップや健康教育機材を使つての健康測定を体験いただきました。湖南省の健康課題でもあるがんの死亡数(令和3年)では、総数1位が肺、2位が大腸、男性1位が肺、2位が大腸、女性1位が大腸、2位が肺という事もあり、また、がん検診の受診率向上も目指し、フェスタの中で大腸がんの予防啓発を実施しました。

水戸まちづくりフェスタ 2023

12月10日(日) 市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)にて、「水戸まちづくりフェスタ2023」が開催されました。健康づくり協議会の健康まつりも4年ぶりの開催となり、ステージや各ブースでのイベントでにぎわいました。



▲健康測定コーナーへは延べ1,279名が参加されました



大腸トンネル
探検隊!
◀何個あるか
探してみよう



▲大腸がんについて職員が説明

ワークショップブース



▲食材を選んでバランスの良い朝ごはんを



▲水戸地区のウォーキングマップを作成



▲大腸がんクイズラリーを
実施



▲がんの予防について啓発

健康教育機材を使った測定ブース



▲血流観察、血管年齢測定



▲野菜摂取レベルを測定



▲加速度測定による歩き方チェック



▲女性に人気の肌年齢測定



▲健康測定コーナーのスタッフの皆さん



▲今後の健康づくりの取組へ活用するため「健康づくりアンケート」を実施し、水戸小学校区の健康課題も啓発